

国際交流 NEWS

Vol.7-2019

国際交流 NEWS 第7号

- 1 ベトナム・タイ人学生受入プログラム実施報告
- 2 2019 夏実施 海外研修報告
- 3 お知らせ coming soon

国際交流センターtopics

ベトナム&タイから学生来日！



*University of Medicine and Pharmacy
at Ho Chi Minh City*

Thammasat University



2019年10月20日から26日の7日間、ホーチミン医科薬科大学から学生17名、教員2名、タマサート大学から学生5名、教員1名、計25名が本学を訪れました。留学生から日本人の優しさとおもてなしの心に感謝するとの声があがり、今年も多くの教職員、学生の協力のお蔭で無事に充実したプログラムが終了したことは喜ばしいことです。

各学科での専門的な学び、日本の科学技術についての講義や視察の他、染色体験やだるまの絵付け、ホームステイ体験など、たくさん学び、たくさん笑った10日間。交流した学生の体験をダイジェストで紹介します。

夏の海外研修実施報告もお見逃しなく。

発行：国際交流センター 【Center of International Affairs】 2019. 12. 19
9号館 1F tel/fax : 027-352-7006 e-mail : uhw-kokusai@takasaki-u. ac. jp

来ました！

ベトナム人・タイ人学生受入れ

10月20日～26日でやってきたベトナム・タイの学生たちとショッピングや食事に行ったりして、大いに交流しました。特に、フェアウェルパーティーは最終日だったので名残惜しむように会話が弾み、ガールズトークに花を咲かせました。焼肉を楽しんでいると、突然タイの学生が霜降り肉の写真を撮り始めたのですが、タイでは霜降り肉が高いのでうれしい！とのことでした（笑）また、タイの学生が日本の漫画が流行っていることを教えてくれました。名探偵コナンの他、古いものは私たちも知らないほど以前のもので、逆に教えてもらうようでした。さらに、それぞれの国の制服についてまで話が及んだのですが、タイは日本の高校と同じように、ブレザーやシャツタイプで、ベトナムは白いアオザイが制服なのだそうです。ステキ！日本の着物や浴衣にも興味があり、着てみたいと言っていたので、また日本に来た時には是非着させてあげたいと思いました。いつの日か再会できることを今から楽しみにしています。

社会福祉学科2年 学生



行きました！

Australia

私の夢は英語の先生になることです。ならば英語で話す国で勉強したらいい！そう思い、オーストラリアに希望を抱き飛び立ちました。まず驚いたのは生活の違い。オーストラリアは水をとても大切にするため、地域によって使用時間に制限があるんです。洗濯機の頻度も気を使います。シャワー時間3分!!水をこまめに止めて何とか乗り越えることができました。ホストファミ



リーは優しく、相談に乗ってくれたり一緒にゲームをしてくれたりしました。そして何より気になるのは食！です。いたるところでマフィンが売っていました。おいしくて毎日食べてしまいました(笑)。フリータイムも充実！海なし県に住んでいる私が海を見てはしゃがないわけがありません。海と街並みのマッチング、美しさに感動！

この研修は、英語の楽しさだけでなく、これまで自分が知らなかった世界、体験が満載です。皆さんも是非チャレンジしてみたいかでしょうか。

子ども教育学科1年 学生

Germany(子ども教育学科)

デュッセルドルフ海外研修では、日本人幼稚園・学校、現地の基礎小学校・保育施設を視察しました。現地の施設は室内の壁がカラフルだったり、テーマ毎に子どもの作品が展示してあったり、日本とは違う環境が印象的でとても新鮮に感じました。また、習熟状況に応じて同じ学年を繰り返すことができたり、宗教や人種について学んだりすることを聞き、個人を大切にするドイツならではの教育の特徴なのかなと思います。日本語を学ぶデュッセルドルフ大学の学生とは、行く前からメールでやり取りしており、旧市街地や、ライン川の散策、マーケットでの買い物、ドイツ料理を一緒に食べ・・・と楽しい時間を過ごしましたが、案内してくれたキャンパスの敷地に湖があるのにはビックリしました。学び有り、文化体験有りの充実した研修でした！

子ども教育学科2年 学生



Finland

9月上旬、約10日間のフィンランド研修に参加した。特に心に残っているのは豊かな自然、サウナ、人である。研修中、森林や湖に手軽に行くことができ、心がうっとりするものであった。湖を見ながら風を感じ、物思いに耽る時間は最高であった。「彼女とここ来たら最高やないか」と現地のカップルを撮影した。やっぱり最高。サウナはあまり経験したことがないが、これまた最高。楽しみ方も様々で、熱いサウナから出るとプールで泳いだり、冷たい湖や海に浸かったりと楽しんだ。

フィンランド(人)はお洒落で落ち着いている。シンプルイズベストという文言がこの国のためのものではないかというくらいに。学生の学ぶ意欲には驚かされ、現地の人は優しい。ケレン味がない。正直、僕はこの国に住みたいと思っている。研修のことを書かないと旅行しただけだと思われそうなので、この研修では現地の大学で講義を受け、病院や薬局を見学した。僕の拙文では伝わらないので、ぜひ直で体験してもらいたい。

薬学科4年 学生



Germany(理学療法学科)

9/10～11 日間、ミュンヘンとフランクフルトでの研修に参加しました。ミュンヘンでの筋膜に対する研修は、英語でその特性や仕組みについて授業を受けディスカッションを行うことで理解を深めることができました。特に実際にトレーニングを考える場面ではドイツ人の知識量に圧倒されましたが、私たちも案を出して有意義なディスカッションができました。フランクフルトでの研修では、FMS という指標を用いて、ドイツ人と日本人、フレセニウス大学の新生生に対して評価を行い、問題点やトレーニングを考案しました。1つの動作に対して見るポイント



が多く、見る人によって点数に違いが出てしまう点が難しいと感じました。

はじめは学生と何を話していいのかわからず、自分の英語を理解してもらえないのかとても不安でしたが、私たちの拙い英語を理解しようとしてくれてとても嬉しかったです。食事の時にドイツ語、日本語でそれぞれにおしゃべりしてしまっていたのを「In English please!」と声をかけてくれたことで一気に親密になることができました。ジョーク交じりに「In English please!」とみんなで笑いながらおしゃべりをして、楽しくドイツ研修を終えることができました。

理学療法学科 3年 学生



Coming Soon ☆ 三

フィンランド・ドイツから学生が来日します！！

2月24日からヤムク大学、3月15日からフランクフルト応用科学大学、16日からフレセニウス大学より学生が研修にやってきます。

日本に居ながらドイツやフィンランドの医療事情や、考え方の違いを知ることができます！一緒に鍋を囲んだり、温泉を楽しんだり、日本流にもてなすのもいいですね。寒い季節、国際交流で心をホカホカにしませんか？

その他、文化体験やパーティーなど、プログラムを盛り上げ楽しい企画を考え実行してくれる学生もウェルカムです。

☆詳細はお気軽に国際交流センターまで問い合わせ下さい。